

オーストラリア

メルボルンの松本記子（のりこ） 5段記

ここ数年オーストラリアのメルボルンは世界一住みやすい都市に選ばれています。オーストラリアは、剣道だけでなく居合道、杖道、なぎなたも大変盛んなところですよ。現在オーストラリアの剣道人口は1,000人で、その中で最も剣道人口が多いのがメルボルンのあるヴィクトリア州です。次に多いのが大都市のシドニーのあるニューサウスウェールズです。ヴィクトリア州剣道人口は380人程で、オーストラリア剣道人口の3分の1余りを占めていることとなります。

私は4年前にアメリカからオーストラリアへ家族で移住し、それをきっかけに剣道を再開。現在はメルボルン武道会謙志館道場で、矢野陽一先生（7段 教士）、ピーター シュワルツボード先生（7段 錬士）の指導のもと、100人以上の謙志館メンバーと共に日々稽古に励んでいます。日本人の駐在の方、研究者、留学生の方々もメルボルン滞在中は、よく謙志館に稽古に来られます。



シドニーのオペラハウス（世界遺産）

ヴィクトリア剣道連盟は年に1度日本から8段の先生方を招き、この謙志館セミナーを行います。その他にも沢山の先生方がオーストラリアを訪ね、指導をしてくださっています。2012年、3月には思斉館滝澤道場、滝澤建治先生が謙志館道場を訪問し、講習会を開き指導して頂きました。その当時メルボルンに駐在しておられた富士通テンの篠田浩先生（今は中国に転勤されています）が滝澤先生と交流があり、メルボルン訪問が実現しました。その訪問が縁で、厚木剣道祭への参加のお誘いを頂きました。15人程の謙志館メンバーが10月末から約3週間程日本に剣道遠征で、関東周辺の交流のある道場を訪ね稽古に参加します。偶然にも厚木剣道祭の開催が、謙志館道場日本遠征期間という事、又厚木国際剣道祭のような行事に参加させて頂くのはめったにないチャンスという事で、即参加を決定しました。15人の中から参加者をしぼるのに苦労しましたが、将来指導者に育ててもらいた若者たちを選びました。参加メンバー全員が試合への参加、皆さんとの交流を楽しみにしています。私は残念ながら参加できませんが、各国の参加者も含め、剣道祭へ参加する皆さんが素晴らしい時間が共有できる事、この剣道祭が大成功する事を心から願っています。

追記（滝澤）、この原稿を書いて送って下さった松本記子さんは、4段をアメリカのデトロイトで取ってメルボルンに移られました。ご出身は横浜市内というご縁で一昨年里帰りされた機会に、神奈川県で5段審査に合格されています。審査の前には厚木に通って、剣道と剣道形の稽古をされて、厚木とご縁が強くなっています。娘さんも剣道を始められたそうですので、揃って厚木に来られる機会があると思います。